



【設立】大正14年6月

【代表者】学長 高松 研

【教職員・事務職員数】

2,431人(女性1,035人、男性1,396人)

【所在地】大田区

【事業概要】医学部、薬学部等5学部を有する自然・生命科学の総合大学

背景・経緯

○ 創立以来、性別に関係なく活躍できる環境整備を推進

○ 女性の就業率が30代前半をピークに低下することが課題となっていたことから、医学部を皮切りに教職員の就労継続を支援するため取組を実施

全学的にダイバーシティを推進し、教職員の就業継続を支援

取組内容

【全学的な推進体制の構築】

- ・学長直下のダイバーシティ推進センターを設け、独立した運営体制により、全学的に教職員のライフ・ワーク・バランスを推進

【教職員の継続就業支援】

- ・女性医師の短時間勤務制度として、勤務時間を1/2修練期間として認定し、出産、子育て等でキャリア断絶を余儀なくされていた女性の継続就業を支援する准修練医制度を導入
- ・出産、子育て、介護中に研究を中断せずに行えるよう、研究活動支援員派遣制度を導入

【歴史ある保育施設の運営】

- ・昭和45年に子育て中の教職員のための東邦大学保育園を創設
平成22年に病児保育室を創設し、保育園との相互連携体制を構築

女性チームでの手術風景
(形成外科医・麻酔医・看護師)

東邦大学保育園・病児保育室ひまわり

効果

- 准修練医制度 → 利用者数のべ181名(平成27年度～令和元年度)
継続就労支援の効果で離職率が低下し、医師の女性比率が向上
女性医師比率の推移：平成20年(導入前) 23.41% → 令和2年 30.52%
- 多様な継続就労支援を通じ、内部昇進により女性の上位職比率が着実に上昇し、性別によらず活躍し続けられる組織基盤を構築